



「くれ観光特使」委嘱状交付式の開催について

1 くれ観光特使について

呉市では、本市にゆかりがあり、本市の観光PRをしていただく方を「くれ観光特使」として委嘱しています。観光特使には、観光施設等への無料入場特典を付与した名刺を贈呈し、本市の知名度向上、誘客にご尽力いただいています。

2 委嘱状交付式

日 時：令和6年10月15日（火）11:30～

場 所：呉市役所（4階市長会議室）

出席者：小松 莊一良 氏，呉市長 新原 芳明

3 委嘱者

氏 名：小松 莊一良（こまつ そういちろう）氏

生年月日：昭和39年12月7日

<略歴>

- ・米国ロサンゼルス生まれ、広島県呉市出身。
- ・平成4年、ダンスアクション映画「Heart Breaker」で映画監督としてデビュー。
- ・平成30年、企画・監督した映画「フジコ・ヘミングの時間」がロングランヒットし、海外でも公開。
- ・平成30年、国民的アーティスト・安室奈美恵の最後のライブDVDの監督に抜擢。
- ・令和6年10月18日から、「恋するピアニスト フジコ・ヘミング」が全国ロードショー。
- ・ライブ映像やMV、ドキュメンタリーの監督としても、吉川晃司、東京スカパラダイスオーケストラ、L'Arc-en-Ciel、DA PUMP、ケイティー・ペリー、ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブなどを手掛ける。
- ・母校の大阪芸術大学映像学科では客員教授を務める。

いつの時代も、
どこで暮らしても、
私は私らしく生きた

恋するピアニスト フジコ・ヘミング

FUJIKO HEMMING, A PIANIST WITH A ROMANTIC TONE

出演・音楽：フジコ・ヘミング

監督・構成・編集：小松莊一良

プロデューサー：大村英治 佐藤現 撮影監督：藤本誠司

録音・整音：井筒康仁 サウンドエンジニア：坂元達也 カラリスト：林元太郎

宣伝：安川千尋 演出補：小松上花

企画：スピントーキョー 制作プロダクション：WOWOWエンタテインメント

制作：東映ビデオ、WOWOWエンタテインメント、スピントーキョー、WOWOW 配給：東映ビデオ

2024年／日本／119分／5.1ch ©2024「恋するピアニスト フジコ・ヘミング」フィルム・パートナーズ

fujiko-hemming.com/

世界中から愛され、
人々の心を震わせてきたピアニスト、フジコ・ヘミング。

“恋”に彩られた彼女の人生、奏でた音色は、旅を続ける。

——子どもの頃、寝床に着くと聞こえてきたのは、母が弾くショパンの「ノクターン」。

その音楽に魅了され、ピアノに触れた時から、フジコの音楽の旅が始まった。

数奇な運命をたどり、世間から注目されたのは60代後半。いくつもの苦難が訪れても、フジコはピアノを弾くことを決してやめなかった。

90歳を超えてもなお、世界中で精力的に演奏を続け、公演はどれもソールドアウト。2024年もたくさんの公演を控えていた中、フジコは4月に急逝した。

サンタモニカ・パリ・東京での暮らし。

演奏の原動力となったのは、家族である動物たちや自分を信じること。各国に家を持ち、愛する猫や犬たちに囲まれ、ピアノを弾く毎日が、彼女の愛すべき世界だった。

2018年に異例のロングランヒットを記録した映画『フジコ・ヘミングの時間』から6年。

本作は2020年から4年間の旅路を演奏と共に描くドキュメンタリー作品である。

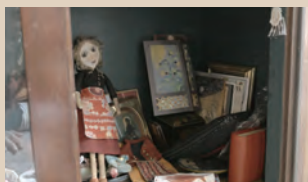
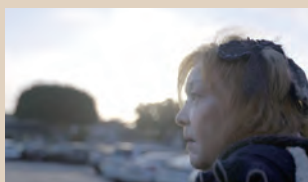
戦時中を過ごした岡山に残されているピアノとの再会、父や弟との思い出、コロナ禍での暮らしと祈りを捧げる演奏、思い出の地・横浜でのドラマティックなステージ、そして秘めた恋の話——。フジコはどんな時も、自分らしく生きてきた。



フジコが愛したパリでのラストステージ

2023年3月、フランス・パリ、コンセルヴァトワール劇場でのコンサートでは、「ラ・カンパネラ」「別れの曲」「月の光」「亡き王女のためのパヴァーヌ」など、数々の名曲が披露された。「最後の演奏会はどんなものにしたい?」の問いに、パリでの演奏会のようにしたいと話していたフジコ。

大切な場所で、過去と記憶が交差し、フジコの人生とともにあった魂の演奏に思わず涙があふれる——。



恋するピアニスト フジコ・ヘミング

出演・音楽：フジコ・ヘミング 監督・構成・編集：小松莊一良
配給：東映ビデオ ©2024「恋するピアニスト フジコ・ヘミング」フィルムパートナーズ



公式HP: <https://fuzjko-film.com/>

公式X: @Fuzjko_film

10.18(FRI) 全国ロードショー